



朝夕に冷え込む日々が続き、師走を実感させる頃となりました。先週は定期テストが返却されました。勉強の成果が表れて満足している顔、思わぬ失敗にがっかりする顔と一喜一憂する姿が見られました。二学期が終わればクリスマスや正月などの楽しみなことが続きますが、気を緩めることなく、授業やクラブを頑張って取り組みましょう。

第2回 お弁当の日について

11月30日(月)は第2回お弁当の日でした。手作りのお弁当を、みんなちょっと誇らしげに笑顔で食べていました。前回よりも色どりを工夫した人、栄養バランスを考えた人など家庭科での学びを生かしていたようです。中には少し手助けしてもらった人もいるようですが、自らメニューを考え料理したことで、よりおいしく感じられたことでしょう。また普段食事や給食を作ってくださいる方に対する感謝の気持ちも大きくなったと思います。



校区人権フォーラムについて

12月3日(木)の午後に長太小学校で校区人権フォーラムが行われ、各クラスの室長が参加しました。皆さんが道徳の時間に発表した意見を室長が前日にまとめました。校区人権フォーラム当日は「仲間」としてつながり安心して過ごせる学年になるために何が必要かについて意見を出し合い、小学生と交流をしました。具体的な行動として挨拶や積極的に話しかけてみるといったことが挙げられました。課題や必要な行動をまとめて発表しました。



人権フォーラムの感想

今日の人権フォーラムで「関わり」が大切だということを学びました。今、箕田小学校と長太小学校も大木中と同じような現状があり、ほとんどの現状は「関わりが少ない」ということからきていると考えられました。私はそのことから、クラスで関わりを増やす取り組みをしていくといいということを学びました。私たちが考えていった「どうしていくとよいか」のほとんどは難しいものばかりでした。何かを積み重ねていかないと、そのことにはたどり着けないものも多かったです。でも、小学生の意見はそれまでの過程で大切なことでたくさん学べました。たとえば、「あいさつ」で、あいさつをしていくことで、コミュニケーションのきっかけになって関わりがふえるという「明日からできること」の一番大切な部分を学べました。でも、コミュニケーションをとったりするには行動力や相手のことを考えるということも大切で、何も考えずに仲間と関わってもけんかが起きてしまったりすると私たちのグループは考えました。今まで、よりよい関わりのために、注意しないといけないことまで考えられていませんでした。でも、今回、あらためて考えることができたのでよかったと思います。

鈴鹿市教育委員会の方がおっしゃっていた、「みんな違ってみんないい」の違いを受け入れることが大切だということを学びました。自分と違う相手のことを否定すると、本音が言い合える関係がくれなくなってしまうので、受け入れることがこれからの関係につながっていくのだと思いました。

実際、ほとんど毎年同じような課題となってしまうので、これから私たちが一部の期間だけ意識するのではなく、今日学んだことが定着し、自然となるようにしていきたいと思います。クラスみんなが意識できるよう、一部の人だけにならないようにつたえたいと思いました。

保護者の皆様へ

先日のお弁当の日につきましては、ご協力ありがとうございました。先ほども触れましたように、定期テストの結果を返却いたしましたので、ぜひ見ていただいて、あたたかい声かけをよろしくお願いいたします。また今月中旬の保護者会では、短い時間ですが、成績のことだけではなく学校生活全般についてお話しさせていただきます。お伝えした時間に来校していただくように重ねてお願いいたします。